

## 特集 集中治療センターのご紹介



ICU・CCUスタッフ



HCUスタッフ



集中治療センター長  
伊藤 彰師

本年3月30日、救急・外来棟3階に集中治療センターが開設されました。

集中治療センターはICU(集中治療室)6床、CCU(冠動脈疾患治療室)4床、HCU(高度治療室)6床からなり、ICU、CCUは特定集中治療管理料1の施設基準に合致する十分な広さを備えています。

また、集中治療センターは手術室に隣接しており、1階の救急センターとは救急専用エレベーターで直結されているため、患者さんの移送に関して利便性の高い設計となっています。



ICUには、主に心臓血管外科手術など大手術後や、救急および病棟から人工呼吸を伴うような重症度の高い患者さんが入室します。

CCUには心臓カテーテル後や心不全など、循環器関連の重症患者さんが入室します。

HCUには、重症度がICU、CCU 基準に準ずる、手術後や救急患者さんが入室します。

集中治療センターはICU6床、CCU4床となってはいますが、ICU、CCUのどちらかが満床の場合には、互いにベッドを融通し合せて重症患者さんに対応し、効率的な病床運営を行っています。集中治療センター開設により、24時間より重症度の高い患者さんを受け入れることが可能となっています。



医師の体制としては、ICUは心臓血管外科医師の協力のもと、麻酔・集中治療科医師が管理を行っています。CCUは循環器内科、HCUは各科の医師が管理します。

ICU、CCUはスタッフ同士で相談しやすい雰囲気があり、互いの専門性を生かして協力して診療にあたっています。

また、HCUで患者さんが急変した場合には、直ちにICU担当医が対応する体制となっており、より高い安全性を確保しています。

ICU、CCUの診療は、朝のカンファレンス(症例検討会)から始まります。



カンファレンスには、医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、理学療法士など、様々な職種のスタッフが出席します。多職種が連携して日々変化する患者さんの状況に応じた治療方針を決定し、方針の透明性を高めています。

このカンファレンスの前に、患者さんの放射線画像や臨床検査値を準備できるよう、中央放射線部や中央検査科に協力いただいています。

またICUでは週1回、放射線科、ICT(感染対策チーム)、NST(栄養サポートチーム)と合同でカンファレンスを開催し、専門家の意見を集約して診療に役立てています。

現在、集中治療センターは単に重症患者さんを収容して治療するだけの部署ではなく、病院の総合力が試される場所となっています。関係各部署の協力を仰ぎ、病院の総合力を基に、重症患者さんの救命率を上げるべく集中治療センターを発展させていきたいと思っています。

# 11月9日より、病院出入口が変わります

当院では、本年11月頃から旧救急診療棟・旧外来棟の取りこわし工事を行います。  
その準備工事として、建物北側の駐車場出入口・駐輪場・玄関等の整備を進めて  
おります。

【下記地図の黄色い部分】11月頃より旧救急診療棟・外来棟の取りこわし工事を行います

**旧正面玄関・現駐車場出入口・現車寄せ・現駐輪場が使えなくなります**

新しい駐車場入り口は、「右折」で入ることができません。  
北方面から「左折」で入庫してください。



工事期間中は、駐車可能台数がさらに減少します。

来院時には、公共交通機関を利用可能な方は、できる限り公共交通機関を利用させていただきますようご協力をお願いいたします。

なお、院外の臨時駐車場をご利用いただけるよう準備を進めております。  
詳細は別途ご案内させていただきます。

ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます





ちんぷいぷい  
 痛い痛い  
 とんでいけ

**魔法の外来**  
**ペインクリニック**



部長 春原 啓一      看護師 上田 やすえ      医師（名誉院長） 津田 喬子

ペインクリニックは痛みを治療する外来です。  
 いろいろな痛みで悩む患者さんが受診されます。

ある方は、「痛いはずがない、と言われた」と少し怒っておられました。  
 またある方は「何か悪い病気ではないか」と不安げでした。  
 また別の方は、からだの痛みの他に、もっと心配な悩み事をもっておいででした。

痛みは、ひとそれぞれ。

ですので、先ずはお話をしっかり伺うことから始めます。  
 不思議なことですが、それだけで、痛みはだいぶやわらぐことも多いのです。

**診療のご案内**

	月	火	水	木	金
診察室 31	春原啓一	春原啓一/ 津田喬子		春原啓一/ 津田喬子	春原啓一

**The Specialist**  
 当院のスペシャリスト

**薬剤師の  
 ご紹介**

病院で働く薬剤師は、調剤業務、外来や入院患者さんの服薬指導、医薬品の管理…など様々な業務に携わっています。その中でも、専門的な分野で活躍している2名の薬剤師を紹介します。



**感染制御認定薬剤師**  
**抗菌化学療法認定薬剤師**  
**工藤 正治**



私は、感染症を発症した患者さんに投与する「抗菌薬」に関する専門知識を持ち、感染症の予防や、感染症の治療を正しく安全に行うための活動をしている薬剤師です。

抗菌薬は、病気の原因となる細菌が増えるのを抑えたり、殺す作用があります。

病気の原因が細菌のとき、医師は「何の菌が原因なのか」を見極め、それに効果のある抗菌薬を選択します。その際、抗菌薬の選択や使用方法、投与期間や副作用などについて医師と相談し、治療を適切に行えるようサポートしています。また他の薬剤師や医療スタッフなどから相談を受け、アドバイスをします。

抗菌薬は、正しく使うことで効果を発揮しますが、長く使いすぎたり、反対にすぐに投与をやめてしまうことで、抗菌薬に抵抗力をもった「耐性菌（たいせいきん）」が出現し、大きな問題になってしまいます。

私の経験や知識を他の薬剤師にも伝え、より多くの患者さんや医療スタッフの役に立ちたいと考えています。

工藤薬剤師から  
 メッセージ

薬剤師は、薬を通じて皆さんが安心・安全に治療を受けられるよう努めています。薬についてわからないこと、疑問に思うこと、心配なことがあれば何でも薬剤師にお聞かせください！

**薬剤師**  
**日本糖尿病療養指導士**  
**久田 宜範**



糖尿病治療では、食事や運動、薬の服用など、患者さんの「自己管理」が重要です。糖尿病療養指導士は、糖尿病の患者さんが主治医の治療方針を正しく理解して自己管理ができるように援助する医療スタッフです。

私は薬剤師として、糖尿病教室での薬剤指導などを通じて、飲み薬の服用方法をわかりやすく説明したり、インスリン注射器の使い方を指導したりしています。

糖尿病教室では、薬剤師の他に看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師が、それぞれの専門性を生かして、患者さんと関わっています。今後は、様々な職種のスタッフと幅広く連携し、さらに充実した糖尿病療養指導につなげていきたいと考えています。また、糖尿病療養指導士の資格を多くの医療スタッフが取得できるよう支援していきたいです。

久田薬剤師から  
 メッセージ

糖尿病は自覚症状の少ない病気なので、飲み薬、インスリン注射を毎日続けるよう習慣づけることが大切です。時には治療を続けることがつらいこともあるでしょうが、目標や楽しみを持つと続けられると思います。一緒にがんばっていきましょう！

# 連携医紹介

東部医療センターは「地域医療支援病院」として、地域の「かかりつけ医」と連携・協力し、高度な治療・検査・入院・手術などの急性期医療を提供しています。

## やまね病院

院長 山根 則夫

やまね病院は、名古屋市北区の楠地区味鋺にあり、「やさしく」「まごころ」「ねつい」をモットーに、地域に根ざした良質で、心優しく、信頼される医療を目指しています。



診療科は内科、外科、整形外科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科の診察を行っています。

なかでも内科は、糖尿病専門医として悪性疾患の早期発見や、糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防、最新の治療を行っています。

また、認知症サポート医として、認知症の早期診断に力を入れています。

やまね病院は、生活習慣病対策として毎週水曜日の午後3時から毎回テーマを決めて糖尿病セミナーを開催しています。その中で、健康や福祉に関わるあらゆる問題を総合的に解決することを目的とした、地域での実践活動である“プライマリケア”を実践しています。

地域の病院として、患者さんが安心して健康に暮らせるように職員一同これからもがんばっていききたいと思います。



所在地：〒462-0014 名古屋市北区楠味鋺4-1524  
(名鉄小牧線 味鋺駅 徒歩10分)

電話番号：052-901-3255

診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 4:00~6:00	○	○	—	○	○	—



【休診】水曜午後、土曜午後、第3土曜、日曜・祝日

## 森内科クリニック

院長 森 紀樹

中区富士見町にある森内科クリニックです。

診療科は内科・小児科で総合的に幅広く診察を行っています。事前予約が必要ですが健康診断・人間ドック・各種予防接種も行っております。

また、退院後ご自宅に帰ってからも療養が必要な方には、往診を行っています。



私は日ごろから、患者様の不安が軽減できるよう、何でも相談して頂けるような雰囲気作りに努めております。地域のホームドクターとして、これからも健康維持のお役に立てればと思っています。

所在地：〒465-0014 名古屋市中区富士見町15-18  
(地下鉄東別院駅1番出口より徒歩5分)

電話番号：052-331-2725

診療科目：内科、胃腸内科、消化器内科、小児科、アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 4:00~7:00	○	○	○	—	○	—



【休診】木曜・土曜午後、日曜・祝日

紹介状をお持ちの患者さんは、東部医療センター地域医療連携センター（救急・外来棟1階）までお越しください。

お問い合わせ 地域医療連携センター



## 市民健康講座

東部医療センターでは、患者さんや市民の方を対象に「市民健康講座」を毎月第3水曜日午後2時30分より開催しています。興味のある方はぜひご参加ください。

日時 10月21日(水) 午後2時30分～

講師 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師  
山田 幸弘・石川 ちひろ

テーマ 「脳卒中予防と早期発見」

～もし「脳卒中かも?!」と思ったとき、迷わず病院に行くことができますか?～



※11月以降の予定は、講師・テーマが決まり次第、病院ホームページや千種区広報、院内掲示などでご案内します。

会場 救急・外来棟4階 多目的ホール

参加方法

参加申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。定員200名になり次第締め切ります。(講義時間は1時間～1時間半です)

お問い合わせ

管理課 庶務係

### 基本理念

市民の命と健康を守り、「奉仕」「満足」「笑顔」が見える、質の高い医療を提供します。



### 基本方針

市立病院として市民の健康のために貢献します。医療の安全と質の向上に努め、患者さんの権利を尊重します。

### 患者さんは以下の権利を有します

- ・個人の尊厳が守られる権利
- ・医療行為を自由に選択し、決定する権利
- ・平等で良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・プライバシーが保障される権利
- ・診療記録の開示を求める権利
- ・セカンドオピニオンを受ける権利
- ・要望を提案する権利

### 患者さんには以下の責務を果たしていただきます

- ・ご自身の健康に関する情報を提供する責務
- ・他の患者さんへの医療に支障を与えない責務
- ・医療提供者と協力する責務
- ・病院の規則・指示・助言を守る責務

発行者／名古屋市立東部医療センター  
広報委員会  
(年4回発行)  
名古屋市千種区若水1-2-23  
TEL052-721-7171  
<http://www.higashi.hosp.city.nagoya.jp/>

東部医療センター

検索

